



ミニーバ B202-ARB

組立マニュアル&取扱説明書

※共通取扱説明書も必ずお読みください。

※仕様は予定なく変更いたします

KADOKURA.



箱からすべて取り出して構成部品を確認してください

組立所要時間

約45分

※共通取扱説明書も必ずお読みください。



構成部品

①本体フレーム	1個
②ヘッドレスト	1個
③ヘッドレスト補強バー	1個
④サイドガード	2個
⑤転倒防止バー	2個
⑥股間サポート	1個
⑦脇サポート	2個
⑧フットレスト	2個
⑨座面シート	1個
⑩背面シート	1個



※付属工具

注意！

組立前に各部レバーは絶対に触らないでください。
各パイプが不揃いになり、組立が困難になる為。



ヘッドレスト取付方法



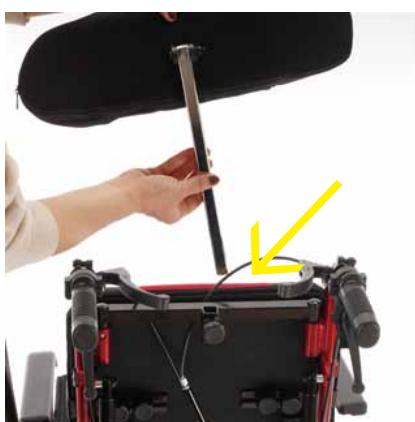
①フレームを広げる



②背面補強バーにある凸が
左側にあることを確認する



③背面補強バーを取り付ける



④ヘッドレスト本体を補強
バー部分に取り付ける。
(上げぎみに取付ける)



⑤ヘッドレストの高さ調整はノブを回してお好
みの高さに固定してください。左回りで緩み、
右回りで締め付けになります。



⑥角度は付属の工具で締め付けて
固定してください。



⑦装着例



①座面ベースを取り付け
る。



②座面ベースの取付けクランプ
を確認する



③座面ベース 4箇所をフレー
ムにクリップでハメこむ。



④座面ベースがフレームに
しっかりと入っているか確
認する（背面シートを後
で差し込む為、前方より
に取り付ける）



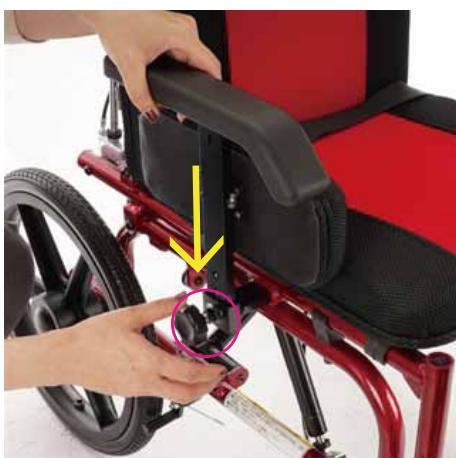
⑤フレーム側の固定穴



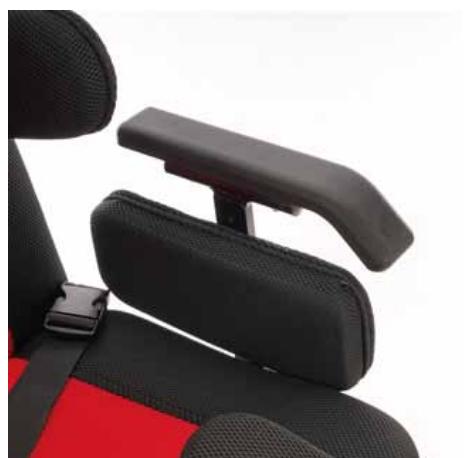
⑥シート脱落防止の為、固
定ピンを押し込み本体に
固定し確実に固定する。
尚、赤いボタンを押すこ
とにより固定ピンを解除
することができます。



⑦向きを確認しながらサイ
ドガードを差し込む



⑧ネジで締め付ける。



⑨装着例

**注意！座面底部の固定ピンをロックで使用してください。
座面が不用意に外れケガをする場合があります。**



①背面ベースを取り付ける。



②背面ベースには上下があります。ポケットを下側にした状態で取付けてください。



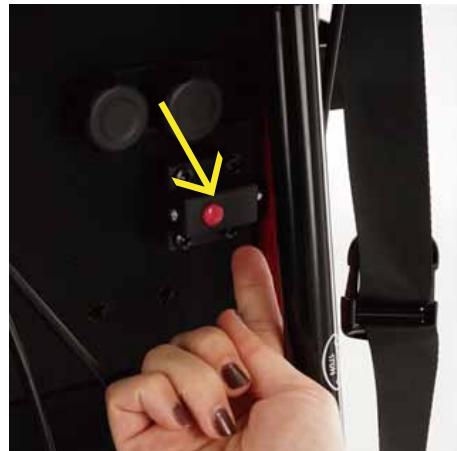
③背面ベース4箇所をフレームにクリップでハメこむ。



④背面シート脱落防止の為、固定ピンを押し込み本体に固定し確実に固定する。尚、赤いボタンを押すことにより固定ピンを解除することができます。



⑤フレーム側の固定穴



⑥上半身サポート用の取付ボルトを外す。



⑦背面シート取付例



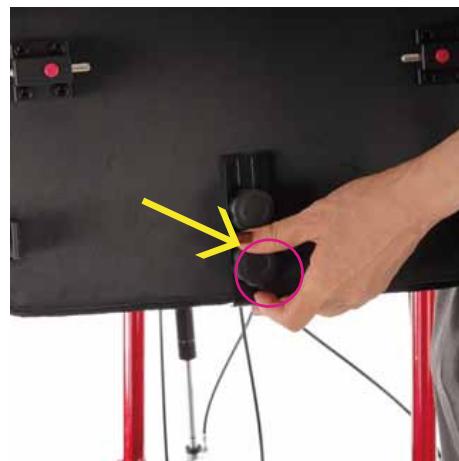
⑧脇サポートを取り付ける。

⑨ネジで固定。お好みの位置に調整してください。
2段階で位置を選べます。

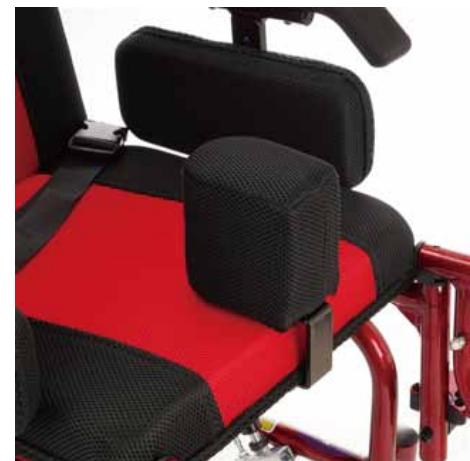
注意！背面後部の固定ピンをロックで使用してください。
背面が不用意に外れケガをする場合があります。



①股間サポート取付け



②座面ベース前方底面に差し込む。ネジで締め付ける。



③装着例

転倒防止バー取付方法



①転倒防止バーを取付ける



②転倒防止バーをフレームに差し込み固定金具で固定する。



③転倒防止バーは2段階で調整可能です。



④装着例

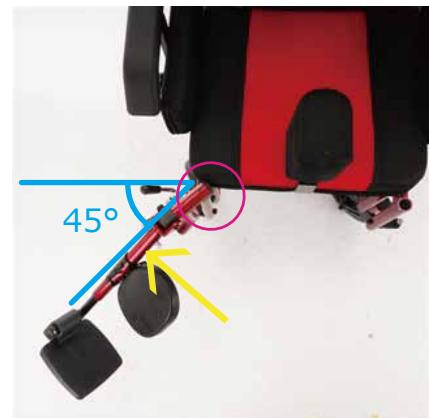
注意！転倒防止バーは出しすぎると段差を超える事が出来なくなる場合があります。

フットレスト取付方法

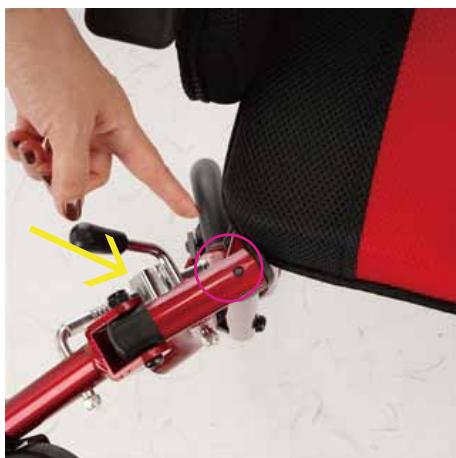
KADOKURA.



①フットレストの左右を確認する



②フットレストを斜め 45 度の位置でフレームの穴にひっかける



③45 度以外の位置では取り付け
ができない設計となっている
為、必ず写真の角度で取り付ける



④フットレストを中央に引き寄せ
垂直になるように固定する



⑤取付例



⑥装着例

フットレスト調整方法



①レバーを倒しながら持ち上げる



②フットレストは足を保持する為、
レバーは固く設定されています。



③9段階で設定が可能。最大で
フットレストを水平にすること
が可能です。



④ふくらはぎパッド3段階で調整
可能。



※付属の工具<六角レンチ>でフットレストを伸ばす事も可能です。
詳しくは共通説明書をお読みください。

リクライニング操作



通常時



右レバー リクライニング



右レバーを握りながらゆっくり倒す。最大で約160度になります。



利用者が無理のない姿勢で理想の座位を決めてください。



リクライニング使用例

注意！倒しすぎは転倒する原因となり、大変危険です。窒息、骨折、ケガ、死亡の可能性があります。

ティルト操作



通常時



左レバー ティルト



左レバーを握りながらゆっくり倒す。最大で約30度傾斜します。



利用者が無理のない姿勢で理想の座位を決めてください。



ティルト使用例

注意！無負荷でティルトレバーを操作すると、座面が戻りにくくなります。水平に戻す際は、座面に加重をかけながら左側のティルトレバーを操作してください。

注意！倒しすぎは転倒する原因となり、大変危険です。窒息、骨折、ケガ、死亡の可能性があります。

4点シートベルト装着方法

※純正オプション（別売）



※安全ベルトは拘束にあたる為、使用は医師の判断に従うこと。



組立完成図